

一般社団法人 エッジプラットフォームコンソーシアム(EPFC)

Edge Platform Consortium

EPFCのミッション

EPFCはIoTシステムの共通基盤（プラットフォーム）をニーズ側、シーズ側で協働して構築するコンソーシアム。

私どもはSIPフィジカルが研究開発した成果を一体化することで統合したIoTソリューションであるエッジプラットフォームを広く社会に普及させるために、社会実装と事業化を目指します。

EPFCの活動内容

ベストプラクティスによる検証

インフラ・交通 農林業・防災 工場・建物 家庭・人 車・モビリティヘルスケア 物流

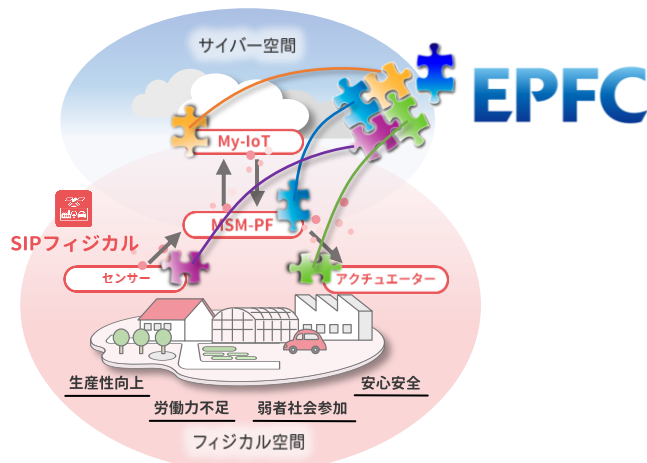
個別エッジシステム
(アプリの要求に応じたハードウェア、ソフトウェア、要素技術を実装)

エッジシステムの仕様要件、アプリ開発仕様

エッジ・プラットフォーム

コンポーネントの機能・性能・I/F仕様

コンポーネント群 (センサー、CPU、通信、電源、等)



● 現在までの活動

EPFCは2017年6月に任意団体として発足し、2019年5月に一般社団法人に移行して以来、エッジを中心としたIoTプラットフォーム構築へ向けて、各種セミナー、勉強会、シンポジウムの開催、IoT関連団体との連携活動や実証実験を含めたビジネス・技術両面の活動をワーキンググループ主体で進めて参りました。

● SIPフィジカル活動の編入

SIPフィジカルはCPSを用いたSociety5.0の実現に向けてサイバー空間とフィジカル空間を連携させることができるエッジに重点を置いたエッジプラットフォームを研究開発し、成果を普及させるために社会実装・事業化を目指した出口機関としてエッジコンソーシアム組織をつくる構想を進めてきました。

既存のEPFCにSIPフィジカルの各事業者が加わる形で新組織として2022年4月に再スタートしました。

● 会員としてのメリット

- 1.SIPフィジカル成果のエッジプラットフォームをオープンに使用できる(短期間、低コスト、省人)。
- 2.完成したエッジプラットフォームの社会実装や普及促進が可能となる。
- 3.既存会員と各SIPフィジカル事業者間との新たな連携活動が可能となる。
- 4.4. 国内外のコンソーシアムや団体との連携が促進され、デファクト化や標準化が可能になる。
- 5.新規事業創出と新市場形成などのビジネスチャンスが拡大できる。(ビジネス・マッチングの促進)
- 6.各SIPフィジカル事業者はSIP終了後も改良や普及活動を継続できる。

ビジネス・マッチング

課題 顧客を探したい
技術ベースが足りない
ソリューションが作れない
事業パートナーが欲しい
コンサルしてほしい
などなど...

パートナー企業探索
技術探索
事業化検討
環境・条件整備

GOAL 製品仕様
共同開発
技術導入
協同事業化

- EPFC会員間の協働・EPFC会員に期待する企業との協働をサポート
- ・新規事業創出と新市場形成などのビジネスチャンスが拡大できる
 - ・会員DB(IoT関連保有技術情報)を整備、EPFC会員企業情報を検索活用できるようにし、会員の技術シーズ、市場ニーズのマッチングを図る
 - ・会員の協働と協力で、EPFCをIoTビジネスマッチングの場としての充実を目指す

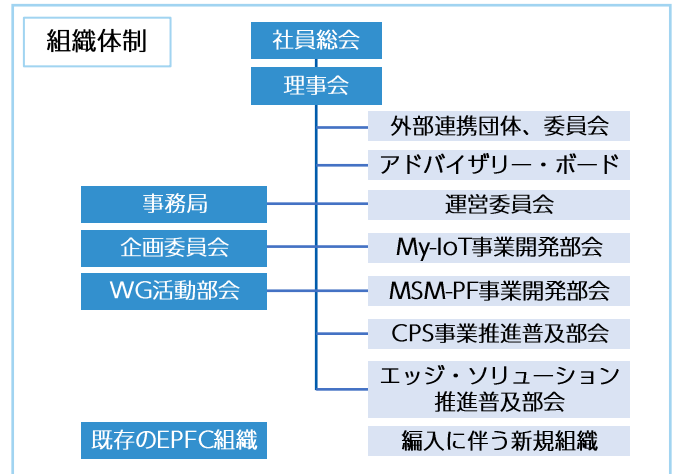
「お困りごとを事務局へ問い合わせ下さい」
会員DB検索と公開データを組み合わせ
産学協同パートナーを特定します
ビジネス・マッチングの場を提供します

エッジプラットフォームコンソーシアム (EPFC)

EPFCの組織

- **社員総会**
全社員が参加する最高決定機関(年1回開催)
- **理事会**
EPFCの運営方針並びに業務執行の決定(年4回開催)
- **運営委員会**
EPFCの運営方針の策定、活動戦略・計画の策定と執行、外部団体との連携等を行う(毎月開催)
- **事務局**
EPFCの事務全般、会員管理、予算管理、経理処理、渉外窓口、理事会・運営委員会・部会のサポート等
- **企画委員会**
セミナー、シンポジウム、展示会、交流会等の企画と運営並びに広告、宣伝などのプロモーション活動の企画と実施
- **ワーキンググループ/テーマグループ活動部会**
EPFCに関わる活動として、自主的活動(実証実験)、共通活動(調査・学習)について、自由かつ柔軟に運営
- **My-IoT事業開発部会**
My-IoT開発PFの管理・改善方針の策定やMSM-PFとの連携や、実商談用インスタンスの整備と営業支援体制及び営業窓口、実事業化支援のための技術支援
- **MSM-PF事業開発部会**
MSM-PFの整備、維持、保守や使用許諾、サポートからプラットフォームに準拠した製品を開発・製造、販売やハードウェアとそれに関わるソフトウェア等の技術支援
- **CPS事業推進普及部会**
SSES成果情報のEPFCへの移管整理と外部組織との連携
- **エッジ・ソリューション推進普及部会**
エンドユーザーを開拓する企業(ITベンダー)と実際に使用するエンドユーザー(製造業他)が主体になり、エッジプラットフォームにおける成果・資産を適用、活用と普及を推進する

EPFCの組織体制



ワーキンググループ活動部会組織

ワーキンググループ活動部会		
マーケティング・ビジネス系	技術系1	技術系2
テーマグループ ①マーケティング・ビジネス系統合 ・製造業向けPF検討 ・農林水産業・建築業/ディベロッパー/不動産 農林水産系を主軸に統合的に活動 個別イベント	テーマグループ ②仮想PoC調査 * 防災(休会) ③EDGE/AI関連 ④エネハベ/電源/センサー	テーマグループ ⑥宇宙IoT * IEEE1451関連(休会 再検討中) 既存IoT-PF説明会

会費について

種別	年度費用	
一般会員	大企業(資本金5億以上)	200,000円/年度
	中小企業(上記以外の企業)	40,000円/年度
個人会員	10,000円/年度	
賛助会員	無料	
特別会員	別途	

ワーキンググループ参加費	年度費用
EPFC会員であれば一名あたり2つテーマグループに参加可能。	10,000円/年度
部会参加費	年度費用
EPFC会員であれば部会に参加可能。	200,000円/年度

- 会費は、事業年度(毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。)分を一括して支払うことを原則とする。

入会について

- 1) EPFC Webページより入会申込書をダウンロードして頂き、必要事項をご記入の上EPFC事務局宛に送付して下さい。
- 2) 事務局にて内容を確認後、理事会にて入会審議をさせていただきます。
- 3) 入会承認後、事務局より登録代表者様と連絡担当者様へ会員番号と会員専用Webページへアクセスするためのパスワードを記載した入会通知書を送付させていただきます。
- 4) 併せて連絡先担当者様に会費の御請求書を送付させていただきます。
- 5) 会費を指定口座へお振込みください。
- 6) 正式会員登録完了となります。

一般社団法人エッジプラットフォームコンソーシアム事務局

〒212-0013
 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館10階
 株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター内
 TEL: 044-201-9030 FAX: 044-201-9031
 E-Mail: info@epfc.jp URL: <https://www.epfc.jp>

